

1 芦屋市民センター別館

市立福社会館

市立老人福社会館

市立公民館

ASHIYA CIVIC CENTER, ANNEX

(Welfare center, Senior citizens welfare center, and Public hall)

所在地／兵庫県芦屋市業平町8—5

建築主／芦屋市

設計者／株式会社 坂倉建築研究所

施工者／株式会社 大林組

竣工／昭和51年4月

Location／Hyogo Prefecture

Owner／Ashiya City

Design／Sakakura Associates, architects and engineers

Contractor／Ohbayashi-Gumi, Ltd.

Date of Completion／April, 1976

●選 評

内田 祥 哉
国 方 秀 男
越 山 欽 平

芦屋市民センターは芦屋市民の教育・文化・福祉の諸活動に適した集合施設として企画され、昭和38年以来約10年余の歳月の間に順次分割発注されながら完成をみるに至ったものである。今回BCS賞審査の対象となったのは、一番最近に完成した別館であるが、このような施設は既設の部分、即ち市民会館やルナホール等との関連においてみるべきであろう。その意味においてこの市民センター総体は、基本構想および基本設計の統一性ある進行と結果とを示し、しかもその過程において逐次進歩の跡がうかがえる。

今回の別館においては、福祉会館・老人福祉会館・公民館という多様な機能を併せもつひとつの建物として無理なく巧みな構成にまとめることに成功し、造形的にも敷地の特殊環境を上手に生かし、既設の諸施設の建物との異和感を感じさせない表現をとっている。

一般に実施設計的な面と施工とは、とくにその協力連繫を必要とする問題点が多いところであるが、この別館の建物についても外壁の打放しコンクリートの型枠の種類とその使い分け、納り方法とか県道上にかけた空中通路の施工段取り等、施工上苦心のほどがしのばれる。しかしこれらの難問題を克服して設計の意図を十分に生かした努力と施工力、また通算25万時間無災害の記録は賞讃に値する。しかも市民センターという総合施設として完成されて以降、その運営がきわめて順調活発に行われていることは、市当局および市民の満足するところである。

これは優れた企画と設計、ならびにこれを見事に具現した施工能力の三つの極の協調態勢がきわめてよく行われた結果であることは間違いない。十分にBCS賞に値するものと認められる。

REVIEW

Yoshichika Uchida
Hideo Kunikata
Kimpei Koshiyama

The Ashiya Civic Center complex consists of a full range of facilities for civic educational, cultural, and welfare activities. Work began on it fifteen years ago; and, one by one, separate buildings have been added. The annex, the most recent, was selected this year for a BCS award. Nonetheless, this newest part must be viewed in relation to such older ones as the main civic hall and the Lunar Hall auditorium. The center simultaneously reveals unity arising from its single basic idea and traces of the various stages through which it has grown.

The annex, which serves several purposes — welfare center, senior citizens welfare center, and public hall — has been skillfully fitted into the general composition. It makes maximum advantage of the nature of the site and harmonizes with the setting and the other buildings.

The kinds of shuttering used in the concrete exterior walls, the way they were put to use, and the problem of building an elevated crossover passage above a prefectural highway are only some of the problems demanding close cooperation between designers and contractors, especially in relation to compiling working plans. But the success with which these difficulties were overcome to realize the architect's intentions and the record of 250,000 working hours without accident deserve the highest praise. Furthermore, management and maintenance satisfy both the city officials and the citizens themselves.

●概 要

建築概要

敷地面積	3,024㎡
建築面積	1,422㎡
延床面積	4,248㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造
	地上4階、塔屋1階

仕上げ概要

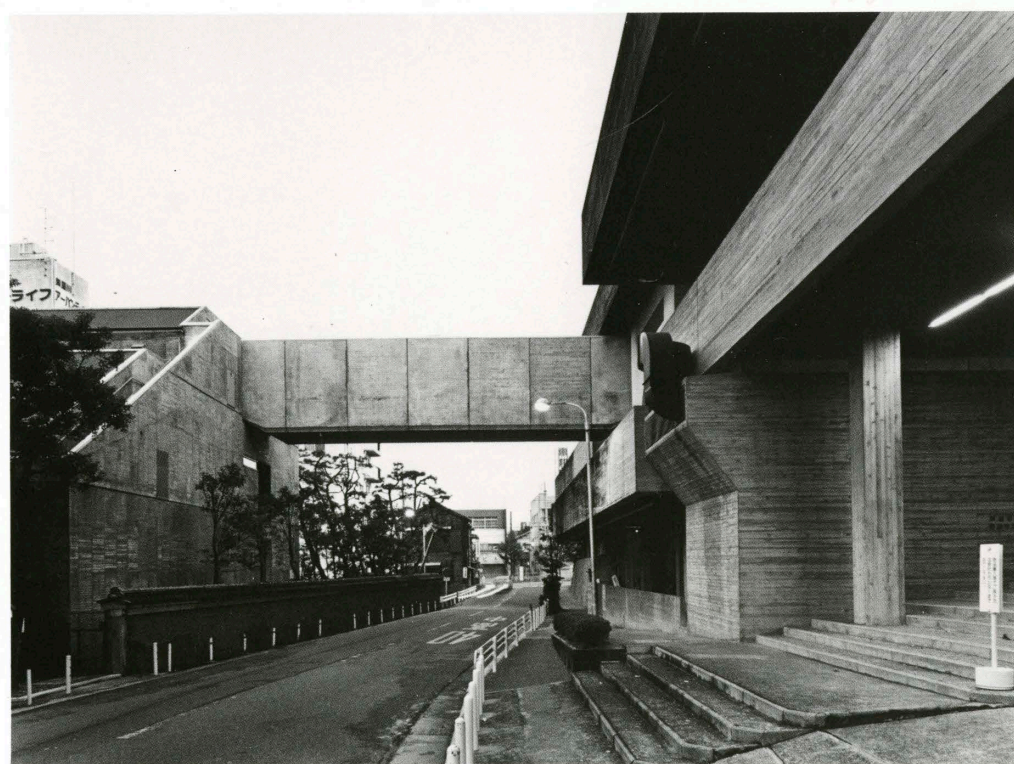
外装 屋根：アスファルト防水豆砂利敷込み、シート防水塗装仕上げ 外壁：コンクリート打放し 建具：アルミサッシュ着色仕上げ
内装 1階 床：モルタル塗りグラニットタイル貼り 壁：コンクリート打放し 天井：コンクリート打放し／2階 床：グラニットタイル貼り、ビニールシート貼り、モザイクパーケット貼り、じゅうたん敷き 壁：コンクリート打放しVP塗り、モルタル金鍍VP、桜練付け仕上げ 天井：プラスターボード貼りEP、吸音ボード貼り素地EP、桜練付け仕上げ／3階 床：ビニールシート貼り、モザイクパーケット貼り、じゅうたん敷き 壁：コンクリート打放しVP塗り、モルタル金鍍VP塗り、桜練付け仕上げ 天井：プラスタボード貼りEP、吸音ボード貼り素地EP、桜練付け仕上げ／4階 床：ビニールシート貼り 壁：モルタル金鍍VP塗り 天井：プラスタボード貼りEP

設備概要

電気 受電66KV60Hz 発電機 220V80KVA
電話：分散中継方式80回線
給排水・衛生 給水：市水、受水槽＋高架水槽の動力落下方式 給湯：循環式給湯方式（浴室）＋個別給湯方式 排水：合流式排水（下水直接放流）
空調 一般室：空調機二重ダクトシステム 音楽室・大広間：単独空調機 ベリメーター：FCUシステム 冷凍機：吸収式 170冷凍トン
昇降機 エレベーター：身障者用1基
消火 屋内消火栓、一部移動式炭酸ガス消火



南側庭園 South garden.



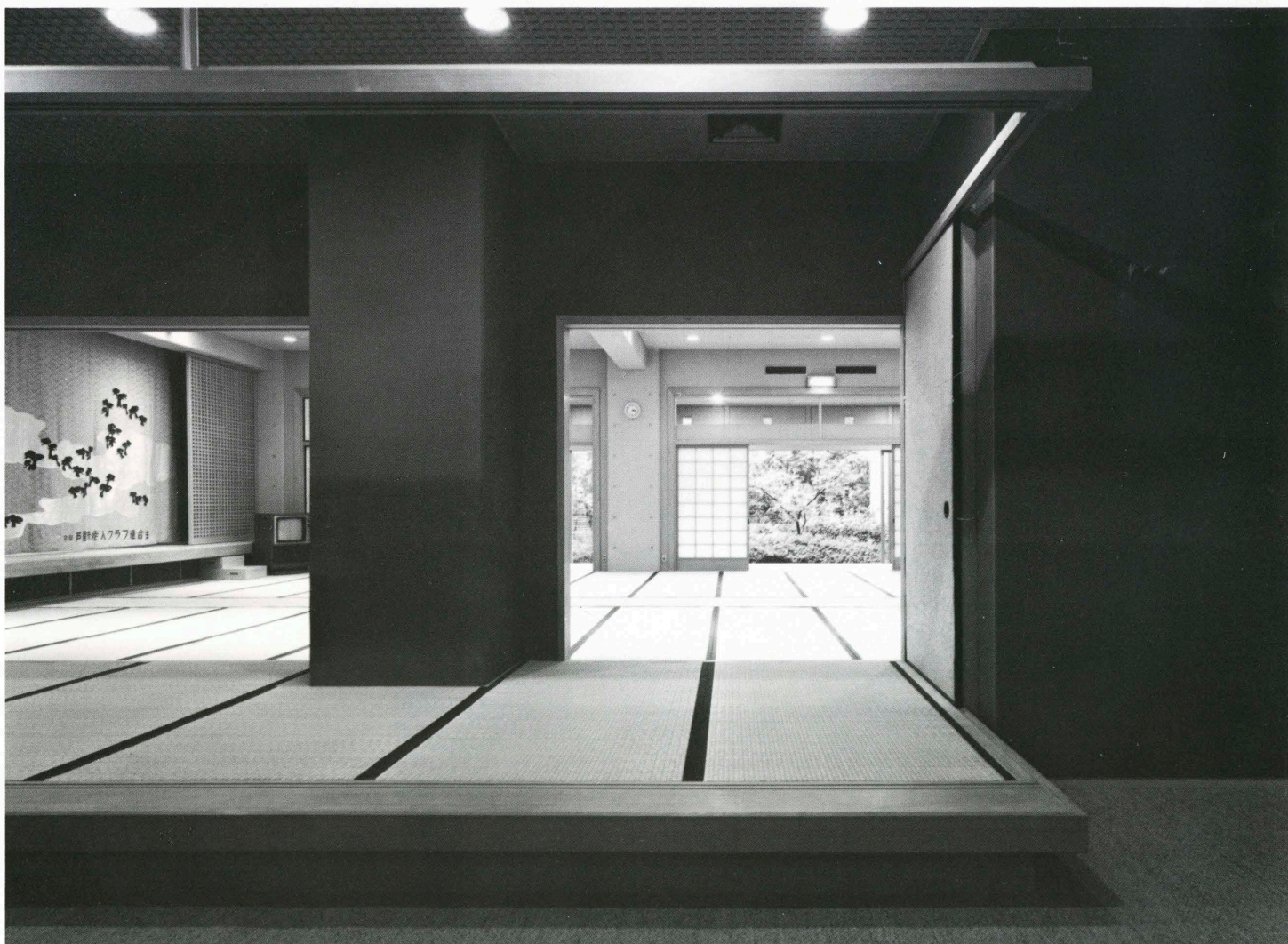
左・別館, 右・本館 Annex(left) and main building(right).



本館よりみる View from the main building.



ロビー Lobby.



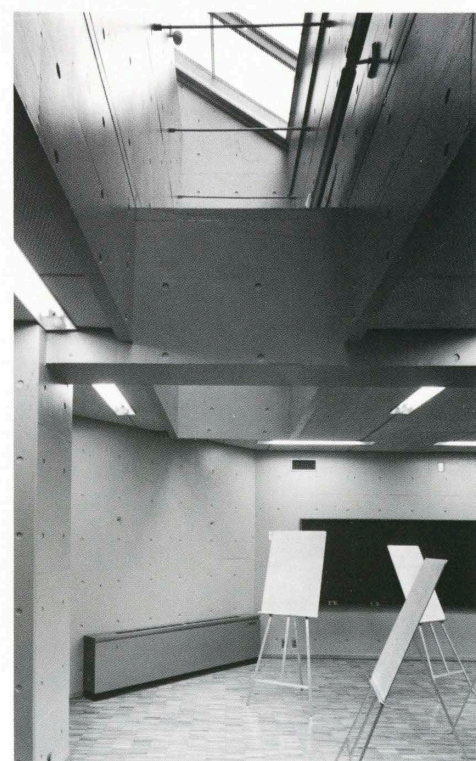
大広間 Main hall.



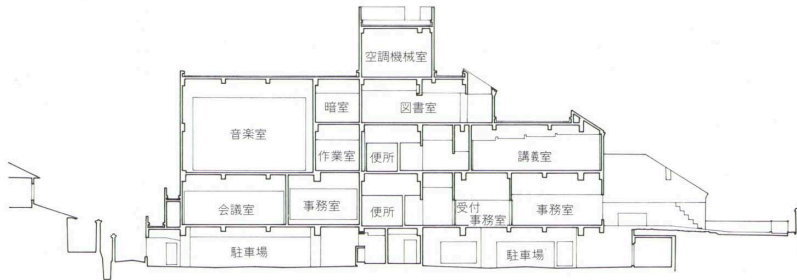
図書室 Library.



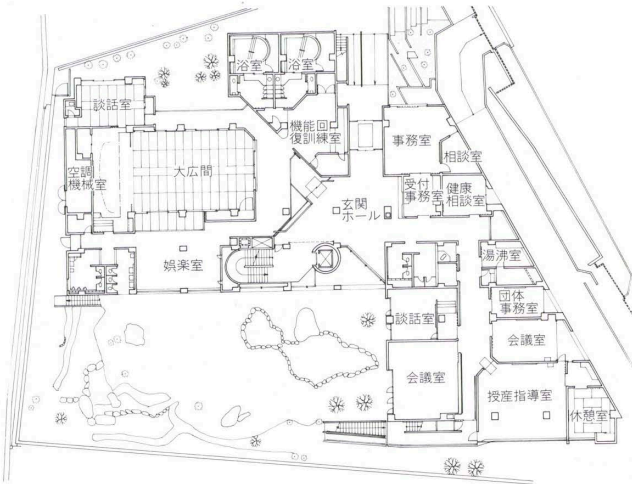
音楽室 Music room.



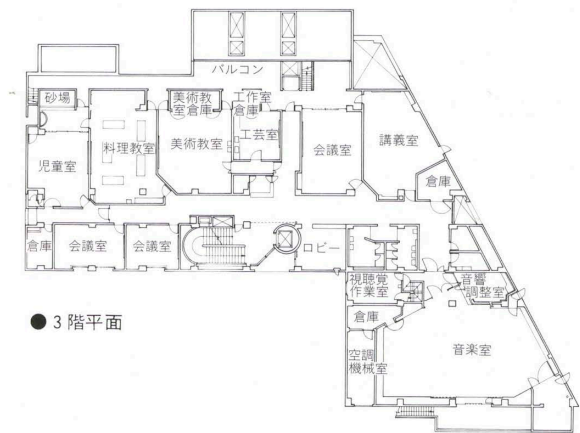
美術室 Art room.



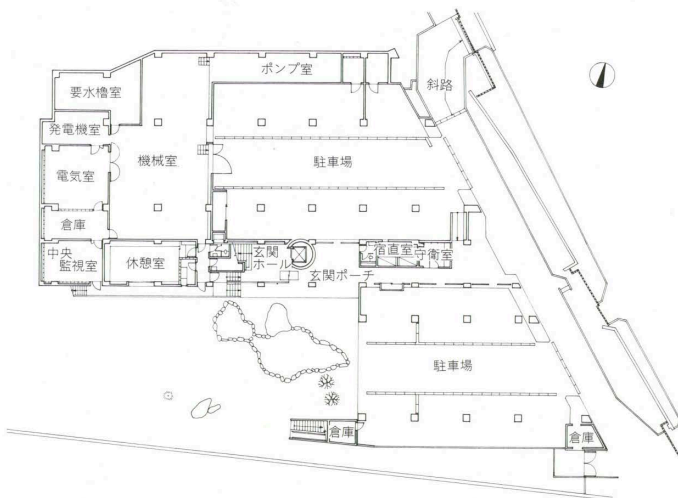
●断面



●2階平面



●3階平面



●1階平面